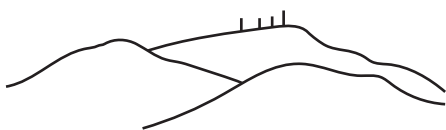


Youth Manna

2020/2/10 - 2/16



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/2/10(月)

レビ 13:29-59

「ツアラアト」は深刻な皮膚の病気を含みますが、家の壁や衣服にも認められる現象であり、単なる病気以上のものとして聖書に書かれています。ツアラアトは、汚れ、その人のうちで広がる病であり、死に至る病でした。

私たちの罪もまた、自身を汚し、他の人に汚れを与えるものです。イエス様が来られた時、ツアラアトの病人たちは、イエス様こそきよめてくださる方と告白し、きよめられることを求めて叫びました。私たちはどうでしょうか？自分の内にある罪をどれだけ深刻なものとして見れているでしょうか？今朝もまず、イエス様の前にへりくだって御前に進み出よう！

2020/2/11(火)

レビ 14:1-20

この箇所には、ツアラアトが治ったときにどのようにきよめられるかが書かれているよ。

祭司は宿営の外に出て患部を調べ、治っていればきよめの儀式を行う。そのために二羽の小鳥が用意されるが、これはその人がツアラアトから解放されたことを表す。ツアラアトが治った人はさらに八日を待った(8)。八日目の儀式には、きよめを表す罪のきよめの捧げ物や、完全な贖いを表す全焼の捧げ物、代償の捧げ物が必要だった(10)。ここにも、神とその神の民の徹底的な聖さや、神の絶対性が表されている。そして神はこの聖なる神の民へと完全に復帰できるように、代償の捧げ物によって贖ってくださる。

神様は聖なるお方であると同時に、罪を赦してくださるお方だよ。この神様のご性質について深く知ることができるように祈ろう！

2020/2/12(水)

レビ 14:21-32

今日読んだ箇所には、ツアラアトに冒された患部がある者で、きよめに必要なものを手に入れることのできない者のためのおしえが書かれています。ツアラアトは死に至る絶望をもたらします。ツアラアトからの回復は、神様に頼るべきものでした。イエス様は、ツアラアトに冒された人にさわって、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われました。すると、すぐにツアラアトが消えて、その人はきよくなりました(マルコ 1:40-42)。

私たちのうちにある罪も、イエス様は「わたしの心だ。きよくなれ」ということばと共に救ってくださいます。イエス様の十字架の救いに感謝して、今日の一日を過ごすことができますように。

2020/2/13(木)

レビ 14:33-57

所有の地において、ツアラアトに冒された箇所が見つかった時、その家の人は祭司に、報告する必要があった。そして祭司はそこで様々な対処を行った。

ツアラアトは、その家に住む人々にも大きな健康被害をもたらしかねず、またその家だけでなく、周辺にも害を及ぼす危険があった。これは罪と似ている。目に見えること以上に、私たちの心や思いを汚しかねない。レビ記は汚れを隠したり誤魔化したりせず、神の前に明らかにした。

私たちも罪や、罪から来る汚れから目をそらすことなく、みことばに従って主の癒しと清めを求めよう！

今日はふんどしの日
2(ふん)10(ど)4(し)

2020/2/14(金)

レビ 15 章

15 章の流れを確認すると 2-13v(25-30v) は男性(女性)の不自然な漏出の病、16-17v(19-24v) は男性(女性)の性に関する漏出、18v は男女の性の交わり、について書かれている。中心にある性の交わりは、人の罪によって汚れとされてしまった。

11 章から 15 章までのテーマは "汚れ"。"汚れ" は食事や出産、病気など日常のさまざまな場面に出てきて完全に逃れることはできなかったね。だからこそ、徹底的な贖い - イエスキリストの十字架 - が私たちに必要になる。明日はその贖い・宥めについてみていこう。

今日明日とローマ 3:25 を読もう。

2020/2/15(土)

レビ 16 章

年に一度、罪を贖う日のことが今日は語られているね。神様との交わりのために罪を取り除くこと、罪は血によってでしか贖うことができないことを神様は教えてくれている。神様は、大祭司が神様を直接見て死ぬことがないように、その注意も語ったね。アロンの息子が神様の命令に従わず死んでしまったこともあって、神様を正しく恐れ、従うことの大切さも改めて記された。人々はやぎの命と引き換えに罪が赦されたこと、荒野に放たれ見放してしまったやぎを見ることで自分たちの罪が除かれたことを実感したんだ。そして自分の罪の重さに気づき悔い改め、神様に心を向けた。

私たちは神様に対して正しく恐れをもてるかな？今、神様に告白し、悔い改めることは何かな？その私たちの罪のためにイエス様は命を差し出してくださったね。立ち止まって考え、主に立ち返ろう！

2020/2/16(日)

レビ 17 章

10-12 節をもう一度読もう！神様は人をあがなう手段として、血を選ばれたんだ。神様が選ばれた物だから、軽々しく扱ってはいけないね。

血はいのちであり、血を食べるのは、いのちに関することを自分の支配に置こうとする態度です。今日の箇所で書かれている命令を守ることは、いのちは神様に属するという告白になります。レビ記では決して血を食べることは許されず、神様が罰を下したほどでしたが、イエス様は新約聖書で自分の血を飲むようにと言われます。今日の箇所の血の禁令はイエス・キリストの血による贖いに通じています。感謝して読みましょう！